

庄原いちばんづくり

～10年先を見据えたまちづくり～

令和5年度 市政懇談会



1

目次

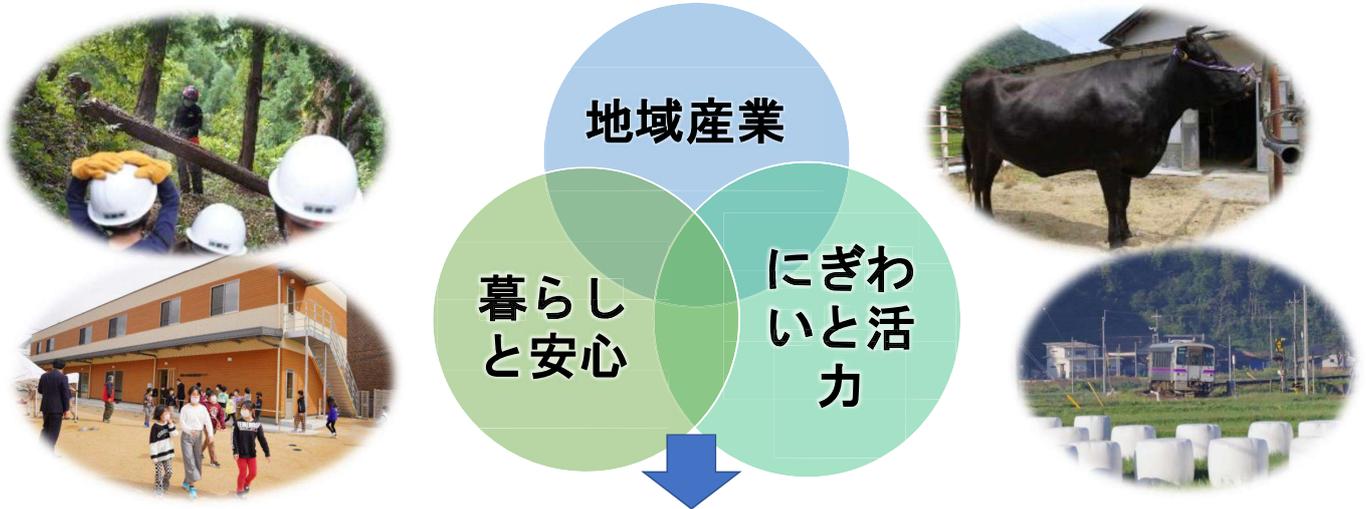
- 1 「庄原いちばんづくり」とは
- 2 「庄原いちばんづくり」10年間の取り組み実績
- 3 令和5年度「庄原いちばんづくり」新規拡充事業
- 4 10年先を見据えたまちづくり

2

1 「庄原いちばんづくり」とは

「地域産業」「暮らしの安心」「にぎわいと活力」の3つの柱（分野別政策）で構成しています。

※「いちばん」とは、数値や量、順位などを他者と比較したものではなく、「しあわせ」や「安心」、「達成感」や「満足感」といった、心の「いちばん」を実感できることを意図しています。



「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と実感してもらえる まちづくり

1 「庄原いちばんづくり」

第2期庄原市長期総合計画

目標とする「まちの姿」やその実現に向けた基本政策を整理したもの

庄原いちばんづくり

長期総合計画に示す政策及び施策のうち、重点的に取り組む施策等を整理したもの

第1期「庄原いちばんづくり基本計画」平成25～26年度

第2期「庄原いちばんづくり基本計画」平成27～28年度

第1期「庄原いちばんづくり」平成29～令和2年度

第2期「庄原いちばんづくり」令和3～令和6年度

平成25年から10年が経過

分野別政策

【政策1】「地域産業」のいちばん

〔方向性〕

本市の経済・雇用を底支えしてきた農林業や商工業等のポテンシャルを高め、強靱かつ、しなやかな地域の産業構造を構築するとともに、先人により培われてきた伝統を継承しつつ、新たな時代の潮流を取り込み「庄原の強み」を最大限活かす産業ビジネスモデルを構築します。

【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

〔方向性〕

地域の未来を担う「次代の主人公」である子どもから、日々の暮らしを重ね、地域の歴史を創ってきた高齢者まで、全ての世代の市民が、安らぎと静穏に満たされた活力ある生活を営むことができるよう、仕組みと基盤を整えます。

【政策3】「にぎわいと活力」のいちばん

〔方向性〕

本市に縁のある幾多の人々の力を得ながら、活力の源である人口を維持するため総力を結集すると共に、本市で生活する人や訪れる人の動線を見つめ直し、多様な資源を用いた効果的な連携軸を描くことで、新たな潮流を作り出します。

5

2 「庄原いちばんづくり」 10年間の取り組み実績



【政策1】「地域産業」のいちばん

① 「庄原産米」のブランドづくり

- 平成26年「庄原市ブランド米推進協議会」設立
- 安心・安全な米づくりを基本に、特色ある「こだわり米」知名度向上や販売促進支援
- 庄原産米のブランド化やブランド米の生産拡大
- 庄原産「ブランド米」は、毎年全国的な米コンテストでも優秀な成績を獲得



② 比婆牛ブランドの復活

- 平成26年7月 あづま蔓振興会設立
- 令和元年 中四国地方で初となる地理的表示（GI）保護制度へ登録
- 令和5年5月 G7広島サミットで比婆牛が提供される



【政策1】「地域産業」のいちばん

③ 有害鳥獣処理施設の整備

- 平成30年1月 有害鳥獣処理施設整備（是松町）
- 農作物の被害の減少や、捕獲者の処理負担軽減をすることで、捕獲を促進
- 令和3年3月「国産ジビエ認証」を取得
- 「庄原猪いちばん」と銘打ち、道の駅やふるさと応援寄附金の返礼品、各種イベントなどで販売



④ 森林体験交流施設の整備

- 令和3年3月 森林体験交流施設整備（比和町古頃）
- 森林への理解と関心を高め、林業を担う人材の育成を進める
- 庄原市内の小中学生に加え、市外の親子にも体験プログラムを提供



【政策1】「地域産業」のいちばん

⑤ サテライトオフィスの誘致

- 庄原市の強みである、恵まれた自然環境、充実した高速道路網、市内全域に整備された高速光通信網を生かし、企業のサテライトオフィスを誘致
- コロナ禍において、多様な働き方を模索する企業が増加した中、サテライトオフィスの誘致を進め、6社の誘致につながった

※サテライトオフィスとは、企業の本社・拠点から離れた場所に設置する小規模な仕事場のことです。



⑥ (株) ウッドワン・(株) フォレストワンとの立地協定

- 令和元年11月「庄原材活用のための連携協定」を締結
- 令和元年11月「庄原材活用研究会」設立
- 令和4年11月(株) ウッドワン・(株) フォレストワンによる立地協定締結



【政策1】「地域産業」のいちばん

⑦ 市独自のキャッシュレス決済カード
(なみか・ほろか)の導入

- 令和3年コロナ禍により影響を受けた経済回復と市民生活支援のため、キャッシュレス決済を市内で推進
- 令和4・5年度で市内小学校での見守り活動を開始
- 自治振興区の活動でのポイント付与にも活用
- 現在、市民のみならず約5万人がカードを所持
- プレミアムポイントの付与やポイント還元イベントにより、市内経済の循環による地域活性化につなげる



【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

①産科再開

- 平成17年4月から市内の産科医療が休止
- 再開に向け粘り強い取り組みを続け、平成30年4月から、市内での産科医療が再開
- 令和2年4月からは常勤医師が2人体制となり、更に安心して出産育児ができる環境が整えられた

年度	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
分娩取扱件数	96	126	110	109	121



②「こども未来広場」の整備

- 地域の宝である子どもたち、また、これから生まれてくる子どもたちに安心な環境を提供するとともに、子どもたちを育む保護者の皆さんを支援するため「庄原市こども未来広場」を整備
- 小児科診療所（庄原こどもクリニック）
- 病後児保育施設（わらべ保育室）
- 子育て支援施設（庄原ひだまり広場）
- 子育てを支援する施設が一か所に集まり、子育て環境が大きく充実



11

【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

③子育て世帯の支援

- 出産祝金：子どもの誕生を祝福し、次代を担う子の健やかな育成を願うため支給（第1子：10万円、第2子：10万円、第3子以降：25万円）
- 入学祝金：小・中学校、特別支援学校（小学部・中学部）へ入学する児童・生徒の保護者へ支給（小学校入学児童 一人あたり3万円、中学校入学生徒 一人あたり3万円）
- 保育料の軽減：令和元年10月から、幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する「3歳から5歳まで」と「0歳から2歳までの市民税非課税世帯」の子どもたちの利用料が無償化



④高齢者冬期安心住宅の整備

- 降雪などによる冬期の生活に不安を感じる高齢者の方に、買い物や通院などがしやすい所で安心して暮らしていただくための「高齢者冬期安心住宅」を市内各地域へ整備

地域	西城	比和	高野	口和
整備状況	2棟2世帯	3部屋3世帯	2部屋2世帯	1部屋1世帯



【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

⑤ 新焼却施設の整備

- 「備北クリーンセンター」では焼却処理、「東城ごみ固形燃料化施設」では固形燃料化し、2つの施設で異なった処理を実施
- 両施設ともに老朽化が進んでいたことから、これを改善するため平成31年2月から新焼却施設の建設工事を実施
- 令和4年6月より、安全で安定的な廃棄物処理を可能とし、環境保全対策も徹底した焼却施設が使用開始
- 燃えるごみの適正処理や処理の効率化が図られた



⑥ 「超高速情報通信網」の整備

- 若い方や市内事業者からの強い要望を受け、平成27年度～30年度にかけて、超高速情報通信網整備事業として、市内全域に光ファイバケーブルを使用した、超高速なインターネット利用環境や住民告知システムの整備
- 光回線の整備により、市内全域で、高速通信サービスについて通信速度が最大1Gbps と高い水準の情報通信環境が整備された
- 光回線を活用した市内一斉の告知放送が可能となり、防災告知に活用



13

【政策3】「にぎわいと活力」のいちばん

① 移住・定住促進対策

- 移住・定住トータルサポート、空き家バンク、しょうばら縁結び事業、空き家家財道具等処分支援など様々な事業を展開
- このような施策により、近年、移住定住支援策を利用して本市に移住される世帯は増加
- 平成24年：9世帯19人 → 直近5年間平均：27.6世帯63.2人
※市の制度利用による移住実績



② 庄原ファンクラブの設立

- 令和5年3月から庄原市に興味・関心のある方や応援してくれる方とつながり、集い、庄原市をさらに楽しむことを目的とした「庄原ファンクラブ」を設立
- 庄原ファンクラブ会員交流募集企画として、令和5年3月には、庄原市の魅力を感じていただけるイベントを広島市内で実施し、多くの方が交流・会員登録された



【政策3】 「にぎわいと活力」のいちばん

③ 国営備北丘陵公園北エリアの活用

- 十分に活用されていなかった国営備北丘陵公園の一部に交流ゾーン（入場無料）を設置
- 情報発信や地域交流拠点として活用し、地域と丘陵公園の交流人口の拡大を図ることを目的に「国営備北丘陵公園北入口エリア社会実験事業」に取り組んでいる
- マルシェやナイトシアターなど様々なイベントを開催し、交流人口増加に寄与



④ 庄原市民会館・庄原自治振興センター一整備

- コンセプト「幅広い世代が集いにぎわう空間」「明るく優しい温かみのある空間」「ユニバーサルデザインに配慮したみんなに優しい空間」
- 老朽化が進み、整備の意見を寄せられていた市民会館は、令和3年度から大規模改修を実施
- 壁や天井などに庄原産の木材をふんだんに使用し、木のぬくもりを感じられる空間
- 停電時でも最低限の電気設備などを利用できるよう、施設屋上に太陽光パネルや蓄電池を設置するなど、避難所としての機能の充実
- 令和5年4月に一般利用が再開された庄原自治振興センターとともに文化活動、市民の生涯学習活動の拠点として、幅広く利用



15

【政策3】 「にぎわいと活力」のいちばん

⑤ 比婆いざなみ街道物語の推進

- 高野町から東城町までの総延長61.4kmの路線を「比婆いざなみ街道」と命名し、地域資源の認知度向上と観光客の増加、地域経済の活性化に取り組んでいる
- 平成29年～令和元年 マラニック大会の開催
- 令和2年「比婆いざなみ街道振興協議会」設立



16

3 令和5年度 「庄原いちばんづくり」新規拡充事業

【政策1】「地域産業」のいちばん

①循環型林業の推進

- 現行の循環型林業推進補助金の大幅な拡大
- 山主の再造林や保育施業の負担を軽減
- 適期の保育施業による確実な森林の再生を促し、「儲かる循環型林業」の実現に向けた取り組みを推進



②森林体験交流施設の充実

- 森林体験プログラムを受け入れるため、空調・シャワールーム等を整備
- 市内外からの体験プログラムの受け入れを促進



17

3 令和5年度「庄原いちばんづくり」新規拡充事業

【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

①乳幼児等医療費助成

- 乳幼児等の健やかな育成を図ることを目的に実施している医療費の支給について、現行は中学3年までであった対象年齢を、高校3年までに見直し
- 令和5年7月から所得制限なしに拡充
- 子育て世代の経済的負担軽減や子育て環境の充実を図る



②子どもたちと多世代の集いの場の整備

- 次世代を担う子どもたちや保護者、関係する多くの人々が世代を超えて集い、憩いの時間を過ごすことのできる場を整備
- 子どもが安心して遊び、子育てができる環境の充実と交流人口の増加、にぎわいの創出を図る
- 令和5年で施設の基本計画を策定（予定）



18

【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

③介護人材の確保

- 市内に所在する介護サービス事業所に、介護職員等として新たに就職した者に対し補助金を交付
- 人材を確保するための支援を行い、人材不足の解消及び介護サービス提供体制の維持を図る



④JR芸備線・木次線の利用促進

- 芸備線（広島ー備後庄原間）開業100年
- これを契機として記念事業を実施予定（庄原駅前フェスタ等）
- 「ローカルダイブ・トレイン」モニターツアーの実施



19

【政策3】「にぎわいと活力」のいちばん

①帝釈峡名勝100周年記念事業

- 令和5年、帝釈峡は名勝100年、国定公園指定60年
- これを契機として、神石高原町、地元住民と記念事業を実施中（神龍湖湖水開き、帝釈峡ウォークなど）
- 今後、帝釈峡マラニック大会などを実施予定



②庄原ファンクラブ活動の充実

- 令和5年3月に会員募集開始
- 会員数1,375人（市内：601人・市外：774人）8月15日現在
- 会員拡大の取り組み
 - （例）市内外イベントでのPR、市内高校生へのアプローチ
 - 県立広島大学庄原キャンパス学生へのアプローチなど
- 地域課題の解決につながる「お手伝い」イベントを実施予定
 - （例）酪農家や果樹農家などでの「お手伝い」
 - 地域の祭りでの「お手伝い」
- 首都圏・広島市・庄原市内での交流イベントを予定
- 市内外の協賛企業・団体を募集
- 情報発信の拡大（LINE、Facebookなど）



20

4 10年先を見据えたまちづくり

「庄原いちばんづくり」の成果

●本市への移住定住者は近年増加

		H24	H30	R 1	R2	R3	R4	直近5年平均
定住実績	世帯	9	37	25	28	19	29	27.6
	人	19	87	56	69	33	71	63.2

●社会減の減少幅が縮小傾向

		H17~H24の平均	H30	R 1	R2	R3	R4	直近5年平均
社会増減	人	▲230.8	▲238	▲193	▲136	▲206	▲316	▲217.8

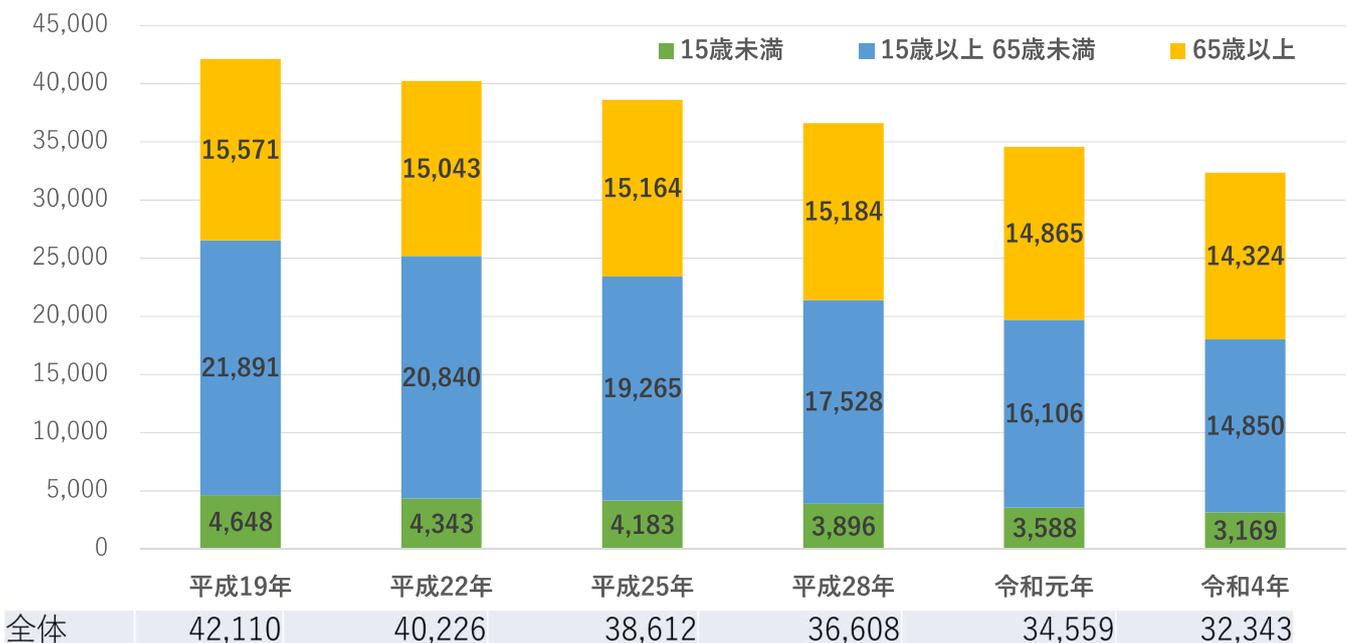


しかし、人口減少は続いている状況

21

●庄原市の年齢別人口推移

4 10年先を見据えたまちづくり



22

10年先を見据えたまちづくりに向けて・・・

これまで取り組んできた

「庄原いちばんづくり」を粘り強く取り組む



「庄原いちばんづくり」を進化させる！



次代につながる活力ある地域社会を構築

23

【政策1】「地域産業」の分野の取り組み案

①製材工場を核とした「儲かる循環型林業」 による産業としての林業の復活

- 大径材を含めた庄原産材の商品開発に向けた取り組み
- 林業研修会の開催や森林体験交流施設を活用した森林体験プログラムの実施による人材育成
- 循環型林業「植える→育てる→伐る→使う→植える」を確立するため補助金を拡充



②比婆牛のブランド化、素牛の増頭支援の継続

- 比婆牛のブランド力強化のためのPR広告を継続
- 各種イベント等で試食等を行ない知名度向上・広島県と連携し、消費者の認知度向上の取り組みを検討
- 比婆牛素牛の増頭⇒これまでの支援策を継続
(比婆牛素牛の増頭、その基盤となる繁殖雌牛の増頭、牛舎、堆肥舎等の施設整備を推進)
- 優秀な広島県種雄牛の造成により素牛出荷頭数は増加⇒広島県、和牛改良組合、農協と連携を強化

24

【政策1】「地域産業」の分野の取り組み案

③スマート農業の普及導入による労力の省力化

- 大規模キャベツ栽培のスマート農業化や搾乳ロボット併用「ハイブリッド酪農」などの実証事業を実施
- 実証事業の効果について、有益な事業の情報を市内農業者への周知を行い、スマート農業の普及を図る
- スマート農機は、導入費用が高く、普及が進みづらい点もあり、必要に応じ支援策についても検討



④さらなるサテライトオフィス誘致

- 令和3年度までに6社が進出
- コロナ禍において、テレワークの推進や本社機能の分散化など多様な働き方を目指す企業が増加
- 県の事業を活用し、企業とのマッチングイベント等を通じて、サテライトオフィスの誘致を継続して推進

⑤なみか・ほろかカードの利用促進による地域内経済の循環

- イベントや転入者へのポイント付与事業等を実施するキャッシュレス決済推進協議会の運営の支援を継続
⇒カードの利用促進とキャッシュレス決済比率の向上、カード所持者の増加につなげる。
- 児童見守りサービスを実施する協議会を中心に、保護者への事業周知に努め、加入者の増加を目指す。
⇒見守り事業は「なみか・ほろかカード」は地域に貢献するカードであるという認識を利用者に深めてもらうための協議会事業である。カードの利用率を上げ、地域経済循環が推進されるようこの取り組みに庄原市も支援していく。

25

【政策2】「暮らしの安心」の分野の取り組み案

①子どもたちを中心に幅広い世代が集い過ごすことのできる場の整備

- 次代を担う子どもたちや保護者、関係する多くの人々が世代を超えて集い、憩い時間を過ごすことができる場を整備
- 子どもが安心して遊び、子育てができる環境の充実と交流人口の増加等による一層の賑わい創出
- 現在、施設整備に向け基本計画を策定中

②持続可能な地域公共交通の実現

- JR芸備線・木次線、路線バスと市が運行する生活交通との効率的な接続
⇒新たな運行形態の導入や地域公共交通の役割分担
⇒運行経路やダイヤ改善など
- 効率的な生活交通の運行に向けたデジタル技術の導入



26

【政策2】「暮らしの安心」の分野の取り組み案

③西城市民病院の改築の検討

- 西城市民病院は昭和45年に建築され50年以上が経過…老朽化が課題
- 西城市民病院は地域包括ケアの拠点
- 西城地域の市街地のまちづくりとともに、西城市民病院の老朽化への対応を検討

④デジタル技術の医療・保育・高齢者施策への活用検討

- 医療・保健分野
 - ⇒オンライン診療は西城市民病院では環境を整備。今後は診療手段のひとつとして活用拡大を調査研究
 - ⇒特定健診申込システムを令和3年度に導入、WEB申し込みにより若い世代の受診率向上を図る。
- 保育・子育て分野
 - ⇒令和2年度から電子母子手帳「庄原ほのぼのネットアプリ」のサービス開始。更なる機能拡充を図る。
 - ⇒保育の質の向上に繋がる保育所登園管理システムの導入を検討
- 高齢者分野
 - ⇒緊急通報体制等にデジタル技術の活用を今後検討



27

【政策2】「暮らしの安心」の分野の取り組み案

⑤公営住宅整備の検討

- 老朽化している公営住宅の建て替え
- 住宅基本計画の見直し
 - ⇒高齢者向け住宅の検討
 - ⇒若者などのニーズに対応したUIターン者向け住宅の供給

⑥次代を担う子どもたちの育成

- 確かな学力の定着・向上
- 豊かな人間性の育成
- 健康・体力の保持・増進
- 教育風土の醸成



28

【政策3】「にぎわいと活力」の分野の取り組み案

①空き家の活用等による移住者の呼び込み

- 引き続き、情報発信と相談対応の充実、定住者の受け入れ支援、住宅の確保支援に取り組む
- 空き家バンクの登録物件を増加させ、移住希望者とのマッチングをよりスムーズに進める。
- 移住定住施策（定住促進奨励金、空き家家財道具等処分支援補助金等）の見直しを予定しており、空き家の活用による移住者支援を検討

②庄原ファンクラブによる関係人口の創出・拡大

- 会員獲得目標を令和5年度末時点合計1,800人（市内800人、市外1,000人）
- 会員拡大の取り組み
 - ⇒庄原ファンクラブ拡大イベント開催（広島市・庄原市内・首都圏）
 - ⇒市内高校3年生へのアプローチ、県立広島大学庄原キャンパスとの連携
- 庄原への関与を強める取り組み
 - ⇒市内の課題解決お手伝いプロジェクトの実施（農業体験・地域イベントのお手伝い）
- 会員特典づくり
 - ⇒特産品抽選会、庄原市特産品販売の促進・会員限定割引イベント、協賛店・協賛団体の募集



29

【政策3】「にぎわいと活力」の分野の取り組み案

③ワーケーションの推進

- 令和5年度に庄原市に縁のある企業によびかけモニターツアーを実施
- モニターツアーを実施した企業には本格的な実施に向けた働きかけを行う。
- 農業体験・自然体験等を組み込む等、庄原ならではのワーケーションプログラムを造成
- 今後も庄原市に縁のある企業を中心にモニターツアー実施の働きかけを継続

④大学との連携・地域と学生の交流

- 県立広島大学…協定締結 平成18年3月29日・至学館大学…協定締結 令和5年6月7日
- 県立広島大学…これまでの連携をさらに強化するとともに、学生と地域の交流を推進
- 至学館大学…大学のクラブ・サークル活動の合宿の本市誘致
 - 市内・近隣の自治体のスポーツ少年団や中学・高校のクラブとの交流・指導等を想定



30

●10年先を見据え、庄原いちばんづくりの取り組みを進化させ、活力ある地域社会を構築していきたいと考えているが…

●10年先よりさらに、将来は…

市の人口ビジョンでは
令和27年（2045年）22,932人を推計

現状の維持が難しくなる

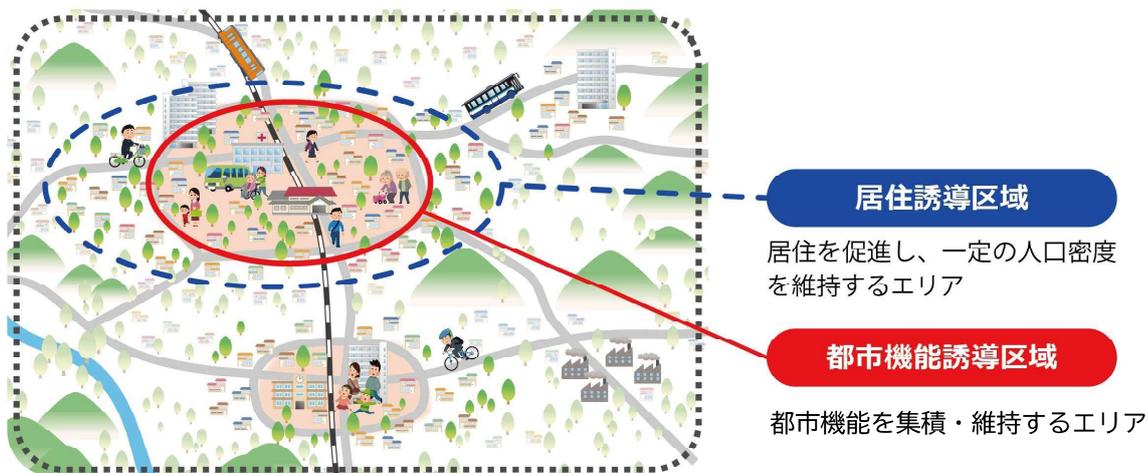
- 地域活動の維持
- 行政効率
- 地域での生活に必要な施設

●このような課題への対応として、コンパクト・プラス・ネットワークといった手法が国から示されています。

31

「コンパクト・プラス・ネットワーク」

医療・福祉・商業などの生活サービス施設を集約し、公共交通等のネットワークにより、各拠点に容易にアクセスできるまちづくりの考え方です。



「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりのため…市は令和5年3月「庄原市都市計画マスタープラン」を改定、「庄原市立地適正化計画」を策定しました。

32

庄原市の将来都市構造



各地域の個性と魅力を尊重しながら、調和と連携によってにぎわいと活力のある都市づくり

各拠点を公共交通や道路網で繋ぐネットワーク

	高速道路等
	国道等
	県道等
	鉄道
	主要河川

33

今後「第3期庄原いちばんづくり」を策定する予定です。



今後の計画策定の参考とするため、また、市民と行政の協働によるまちづくりに取り組むため、皆さんの考えや、ご意見をお聞かせください。

34

完

ご清聴ありがとうございました。



令和5年度 市政懇談会

35